

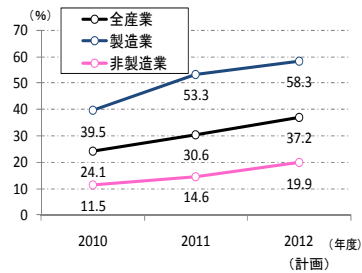
競争力強化に向けた方向性～当行設備投資計画調査からの示唆～

設備投資計画調査からの示唆

- ◆ 海外生産の拡大により、海外需要を取り込み。企業の海外展開は今後も進展する見通し。
- ◆ 中期的にも海外展開は進展する見通しなるも、一部国内生産縮小、サプライチェーンシフトの動きもあり要留意。
- ◆ 他方、国内生産基盤の重要性が認識されており、維持・補修投資は堅持。

国内外事業展開

図表1. 海外／国内設備投資比率の推移 (製造業)



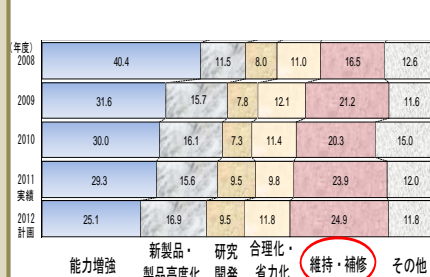
図表2. 中期的な国内・海外の供給能力 (製造業)

(有効回答社数比: %)

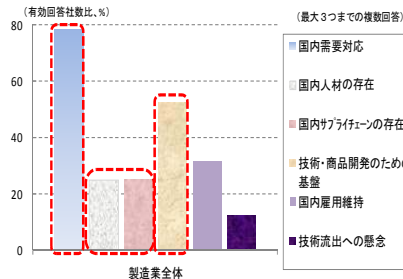
	国内			合計
	増加	変わらず	縮小	
海外	増加 19	変わらず 48	縮小 12	78
	増加 3	変わらず 17	縮小 1	21
	増加 0	変わらず 1	縮小 0	1

競争力の根幹

図表3. 設備投資動機推移 (製造業)

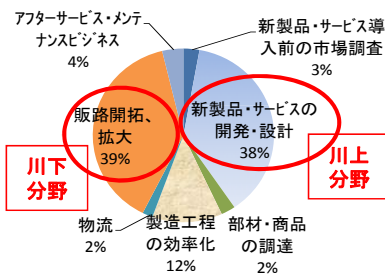


図表4. 国内生産維持理由 (製造業)

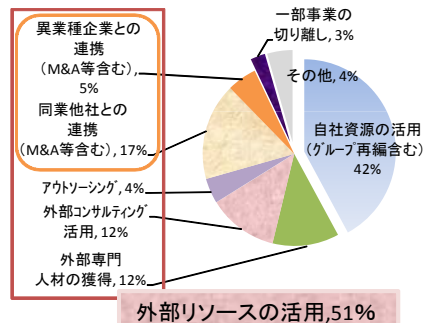


成長・競争力強化に向けた取組

図表5. 競争力強化に向けた注力業務



図表6. 自社課題への対応



企業経営者の声

- ◆ 国内の技術力あるサプライヤーが必要。＜自動車＞
- ◆ コスト面の比較では、川上の素材の海外シフトを伴う「根こそぎ空洞化」の恐れあり。＜自動車＞
- ◆ 耐用年数を越えた設備の補修が重要。＜化学＞
- ◆ アナログ的な技術の伝承などオペレーション能力低下に懸念。＜化学＞
- ◆ 投資規模の関係で海外進出は難しい面があるが、ここまで内需が減ると国内維持は困難。＜鉄鋼＞
- ◆ 競争力の根幹たる部材生産、研究開発、サプライチェーンは国内に残す。＜建機＞
- ◆ 一定の国内需要確保のため、内需喚起策が必要。＜建機＞
- ◆ 下流ビジネス(販売・維持管理)に注力。川下のニーズを川上に取り込み。＜機械＞
- ◆ 川中を整理し、コンポーネントからソリューションにシフト。＜電気機械＞

競争力強化に向けて

競争力の「根幹維持」

- ◆ 人材・サプライチェーン、研究開発及びメーカー工場的機能などの生産基盤の確保
- ◆ 産業集積の維持
- ◆ 資本ストック更新や一定の規模を持つ国内市場の存在が前提

競争力の「戦略的強化」

- ◆ バリューチェーンの川上への展開や川下への展開による競争力強化
- ◆ 異業種連携(M&A含む)など自社以外の外部リソース活用

社会的課題を解決するため
新たな価値創出に向けた
「構想力」の強化

構想の実現に向けた
「場(プラットフォーム)」の構築

競争力強化に
関する研究会